

大学名：静岡大学教育学部

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
学校のユネスコスクール加盟を支援します。	1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	
	2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	大学教員2名がチャレンジ期間のオイスカ高等学校を訪問し、ヒアリングとアドバイスを行った。
	3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	ユネスコスクールの遊びと生活展を共催。広く、ユネスコスクールの教育を広報した。また、その前後で、ユネスコスクールの教員が自主的にESDに関する勉強会を企画し、大学教員が講師として参加した。ハイブリッドでの勉強会に140名程度の教員が参加した。
大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。	1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。	大学と日本平動物園との連携で制作したSDGsデジタル絵本等のコンテンツを提供している。
	2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	ユネスコスクールの遊びと生活展を共催。広く、ユネスコスクールの教育を広報した。また、その前後で、ユネスコスクールの教員が自主的にESDに関する勉強会を企画し、大学教員が講師として参加した。ハイブリッドでの勉強会に140名程度の教員が参加した。（再掲載）
	3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	
地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。	1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	
	2. ユネスコスクールと地域の多様なステーク	

	ホルダーとを結びつけることができた。	
	3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	
国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。	1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	
	2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	
	3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。 (例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	
その他の活動	1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	授業（教職大学院：幼児教育課程とESD、学部：保育内容総論、幼児と環境など）でユネスコスクールの存在や意義、実践を知らせている。
	2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部（保育内容総論など）では、ユネスコスクールの遊びと生活展に参加し、展示物の説明だけでなく、来場し遊んでいる子どもの姿を見て学ぶ機会を設けている。
	3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	

	4. 自由記述	